

# 記入例



Yamase Design Committee

## 久慈地域パワーアップ支援事業 コミュニティ・ビジネス チャレンジ資金申請書

### 1 事業実施者

団体名称	やませ特産品開発研究所
代表者	職名 所長 氏名 やませ 太郎 住所 岩手県霧市 9-9
団体所在地 (主たる事務所)	所在地 岩手県やませ市 1-1 電話番号 0194-12-3456
連絡担当者	職名 所長 氏名 やませ 太郎 連絡先住所 岩手県やませ市 1-1 連絡先電話番号 0194-12-3456
設立年月日	平成 7 年 4 月 1 日
スタッフ・従業員	研究員 2 人 職員 3 人 賛同会員 40 人
主たる事業内容	市内の特産であるうに、あわび、山のきぶどう、ほうれん草、などを利用した特産品の研究・開発・販売。首都圏を中心とした各地区でのイベント販売等
過去の事業実績	市内産うにとあわびを使用した瓶詰め珍味の販売 市内山のきぶどうを使用した、栄養補助剤の開発販売 市内特産寒じめほうれん草 10 割使用パスタ麺開発販売
代表者の職歴、資格	職歴 ・ (株)霧商事にて商品開発担当部長 ・ レストラン やませと霧 経営 ・ 特定非営利法人やませデザイン会議 会員 資格 ・ 野菜のソムリエ ・ 調理師

「連絡者または事務局者の指名・住所」  
連絡窓口なる方の氏名および連絡先を記入してください。

## 2 事業内容

開業又は営利活動の開始時期	平成 18 年 12 月
事業の動機、目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>当研究所既存商品購入業者より要望の多かった、寒じめほうれん草を使った麺（パスタ麺以外）を、開発製品化すると共に、寒じめほうれん草と短角牛を使った本格的なレトルト（又は、缶詰）のカレーの開発製品化を目指す。</li> <li>山のきぶどう、雑穀など、地域特産を有効活用し、地域のオリジナリティあふれる商品開発を目指す</li> </ul>
事業の内容	<p>① 提供する商品・サービスの具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内産生産農産物を商品等として販売できない規格外品等を麺、カレールーに加工し販売。</li> <li>山のきぶどうを使用したリキュールの開発販売（地元酒造会社と共同開発）</li> <li>雑穀をつかったオリジナルパン</li> </ul> <p>② 営業・販売方法</p> <p>営業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特産地品や自然系レストラン、旅館等、又は、学校給食等に積極的に働きかけ、販路拡大を目指す。</li> <li>ホームページ・メルマガを開設し、情報提供等を行う。</li> <li>市を始め、各種関係団体等とともに、イベント・キャンペーンを展開する</li> </ul> <p>販売方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏を中心とした市外での各種イベント等参加による対面式販売</li> <li>ホームページ等を活用したネット販売</li> <li>地元産直、物産館等、道の駅等観光スポットを中心とした販売施設での販売</li> </ul> <p>③ 想定する顧客対象（性別、年代層、地域など）とその数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存商品購入層は 35 歳以上の主婦が中心であり、ネットによる首都圏からの購入が多く、これらの年代は、本物・健康・産地志向が強い世代であり、品質が伴えば、多少高価でも購入意欲が高いため、この世代・地域をターゲットとする。</li> <li>当初 1 年間は、月平均〇〇個、〇〇円の売上を予想しているが、首都圏等を中心に試食販売等を通しアンケート調査をし、購入層、売上目標数を明確化する。</li> </ul> <p>④ 地域内において類似する事業の有無（有る場合、その優位な点）</p> <p>やませ市は、第 1 次産業が中心であるが、その第 1 次産品を加工販売する施設が少なく、そのほとんどは他県へ原料として出荷されている。また、やませ市の場合、特産品は、貴重性が高いものが多いがその分、他地域産より割高となるため、仕入先が少なく、年々、第 1 位産業従事者が減少している。これらの事から、地元での加工施設、又、他地域への販売ルート形成、地域ブランド化を確立するとともに、規格外商品・産業廃棄物活用等資源の有効活用による産業活性化を望む声が多く、当研究所の独自のノウハウを最大限に活かすことが出来るれば、地域の貢献度も高いと思われる。</p>
事業に必要な許認可・資格とその取得状況	食肉加工販売（研究所職員 1 人）
地域貢献度 （地域の利便性向上、福祉の向上、活性化など、地域に貢献するポイント）	<p>地元生産者と連携し、生産加工販売を行うことで、地元特産品の需要を高め、今まで廃棄されていた資源の有効活用を図ると共に新たな産業を創設し、また、雇用促進につなげ、地域の活性化に貢献できるものと思われる。</p> <p>加えて、当研究所を地元教育機関に開放することで、幼少期より商品開発などを中心とした地元経済の発展を考える教材や契機を作るなど、社会教育活動にも取り組んで行く予定である。</p>

### 《提案企画の目的》

応募された活動企画の動機・目的を簡潔にまとめてください。

### 《提供する商品・サービスの具体的内容》

提供する商品、又は、サービスの内容を具体的に簡潔にまとめてください。

### 《営業・販売方法》

営業方法・販売方法を、それぞれ、具体的に簡潔にまとめてください。

### 《想定する顧客対象とその数》

想定する顧客対象（性別、年代層、地域等）とその数等を、想定の根拠を含め具体的に簡潔にまとめてください。

### 《地域内において類似する事業の有無》

地域内において類似する事業の有無・優位な点等を具体的に簡潔にまとめてください。

### 《事業に必要な許認可・資格とその取得状況》

事業を行うにあたって、必要な許認可・資格等がある場合は、記入してください。

### 《地域貢献度》

事業を実施することによって、どんな効果が期待できるか、どんな成果をあげられるかを、「広く地域の人々のために」という視点から記入してください。

## (1) 助成申請金額

500 千円

## 《助成申請金額》

1,000 円未満を切り捨てた額を申請してください。  
審査により、申請金額よりも減額する場合があります。

## (2) 資金計画

	区 別	金額 (千円)	摘 要
資 金 内 容	自己資本金	1,000 150	【内容】 定期預金解約金 協賛支援金 (@5,000×30 人)
	親、兄弟、知人、友人 からの借入	0	
	金融機関からの借入	0	【金融機関名】
	その他	50 500	生産者賛同金 (@5,000×10 人) コミュニティ・ビジネスチャレンジ資金

## 《資金計画》

資金の内訳について、項目別に記入してください。

いたします。

欄が足りない場合は、別紙、任意の様式にて提出してください。

# 4 事業収支計画

損益計算書

単位:千円、人

		開業前準備	開業後1ヶ月	開業後2ヶ月	開業後3ヶ月	開業後4ヶ月	開業後5ヶ月	開業後6ヶ月	左記のうち 補助対象経費	開業後1年目の1ヶ月間	開業後2年目の1ヶ月間	摘要
		平成18年11月	平成18年12月	平成19年1月	平成19年2月	平成19年3月	平成19年4月	平成19年5月				
売上見込	客単価(A)	A	/	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	/	1.5	1.5	【設定根拠】 ・主力開発商品のほうれん草カレー@750×2個として (カレー1個2人前、4人家族を基準)
	客数(1日)(B)	B	/	20	20	20	25	30	/	50	100	【販売根拠】 ・管内産直等販売施設 20箇所・・・2個×6施設 ・ネット販売・・・2個×4人
	売上高	C=A×B× 営業日数 (日/月)	/	900	900	900	937.5	1,350	/	2,250	4,500	営業日数・・・30日(ネット販売も含む)
	原価(仕入代)	D	/	600	600	600	600	600	/	1,200	1,800	1年目:1ヶ月1,000食×@600
	粗利益	E=C-D	/	300	300	300	337.5	750	/	1,050	2,700	
経費 (補助対象)	店舗等借上げ経費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	店舗等改装・設備工事費		0	/	/	/	/	/	0	0	0	
	備品・什器・消耗品等購入費		800	20	20	20	25	30		40	55	
	広告宣伝費・販売促進費		100	10	10	10	10	10		10	10	インターネット広告 5,000/月 チラシ@20×200部/日 等
	商品開発費・研修費		500	10	10	15	10	10		50	75	商品開発、製造研修等
経費(補助対象外)	人件費(本人含み)		350	240	240	240	240	240	/	240	400	@120,000×2人、他
	店舗等維持費		50	10	10	10	10	10	/	20	20	HP維持費、等
	物品搬入費		0	0	0	0	0	0	/	0	0	
	諸経費		200	15	15	15	15	15	/	15	20	
小計	F	2,000	305	305	310	310	315	325		375	580	
営業損益	G=E-F	/	△5	△5	△10	27.5	435	425	/	675	2,120	
その他費用	H	/	5	5	5	5	10	10	/	10	20	
税引前損益	I=G-H	/	△10	△10	△15	225	425	415	/	665	2,100	
法人税等	J	/	0	0	0	0	0	0	/	0	0	
税引後損益	K=I-J	/	△10	△10	△15	225	425	415	/	665	2,100	

## 《摘要》

各項目の摘要は、根拠等も含め具体的に記入してください。  
特に、『売上単価の設定根拠』『売上数販売根拠』については、明確に記入してください。

## 助成対象経費積算明細書

経費区分	品名等	使途・目的	全経費 単価×数量=金額(円)	助成対象 経 費 (千円)	助成金交付 申 請 額	添付資料 No (見積書、 カタログ等)	摘 要
店舗等借上げ経費 小計							
店舗等改装・設備工 事費 小計							
備品・什器・消耗品 購入費 小計	備品 備品 備品 備品	機器 器具 1 器具 2 備品	400,000 (1 台) 200,000 100,000 100,000 (1 台) 800,000		200	(見積り No.1) (見積り No.2)	
広告宣伝費・販売促 進費 小計	広告宣伝費 広告宣伝費	チラシ作成外注費 インターネット広告	@20×2,000=40,000 1ヶ月枠=60,000 100,000		40 60 100	(見積り No.5)	
商品開発費・研修費 小計	商品開発費 商品開発費 商品開発費	試作品開発費 材料費 検査料 試作品開発費	242,000 58,000 200,000 500,000		200		
合 計			1,400,000	1,400	500		

(注) 1. 品名等は、購入する品名毎に記入すること。

2. 助成対象経費は、各経費区分の小計の金額から千円未満を切捨てた額とする。

3. 助成金交付申請額は、助成対象経費の小計に補助率を乗じ、千円未満を切捨てた額とする。なお、その合計は助成金交付申請額と一致する。

## 《品名等》

購入する品名ごとに記入してください。

## 《使途・目的》

簡潔に記入してください。

## 《全経費の金額》

事業に掛かる全経費について記入してください。

## 《補助対象経費》

事業に掛かる全経費の内、補助対象となる経費を記入してください。

## 《補助対象経費》

事業に掛かる全経費の内、補助対象となる経費を記入してください。

## 《補助金交付申請額》

対象経費の内、補助金申請をする額を記入してください。

## 《添付資料》

見積書等の添付資料がある場合は記入し、見積書等は、添付資料として提出してください。

## 《摘要欄》

備品の名称等を必要に応じて記入してください。